

組織名	埼玉県東南部都市連絡調整会議
-----	----------------

## 1 組織概要

所在地	埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL	048-963-9112(直通)
FAX	048-965-6433
URL	http://www.saitamakentounanbu.jp/
e-mail	seisaku@city.koshigaya.lg.jp
設立	平成3年5月27日
設置都市等	草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町
代表者	会長 越谷市長 高橋 努

## 2 組織動向

### (1) 沿革

設置経緯	埼玉県東南部地域に位置する5市1町は、昭和40年に埼玉県東部清掃組合(現在の東埼玉資源環境組合)を組織し、ごみ及びし尿の共同処理を図ってきたが、その他の広域的な行政課題についても連携を図るべく埼玉県東南部都市連絡調整会議(任意の協議会)を設立した。
見直しの動向	
役割(2020年時点)	次の事業を行なうこと 1 本地域における広域的な行政課題及び共同事業による行政の効率性の追求に関する調査研究 2 本地域における広域的な連携を図る事業 3 その他目的達成のために必要な事業

### (2) 組織体制

設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input checked="" type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に: )
常勤職員数	4人
うち常勤研究員数	0人
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に: 調査研究の一部について、専門的な知識を有した事業者へ委託) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	会長所在地である越谷市の政策課が事務局となり、庶務を所掌している。
市民参加、外部連携	

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2020年度予算	52,275 千円	
2019年度決算	47,669 千円	
2018年度決算	46,777 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	負担金収入
	2位	補助金等収入
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

### 3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に:調整会議の基本指針において、重点的に取り組むこととされたものから選択)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) <input checked="" type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

### 4 特記事項

研究員の業務分担	
研究員の専門性育成の手立て	
研究員のキャリアパス等	
その他	

## 5 2020年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
AI・RPAにかかる調査研究	人口減少や市民ニーズの多様化、働き方改革といった課題に対応するため、AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などによる業務の効率化は5市1町でも共通する課題であり、AI・RPAを活用できる人材育成やリテラシーの向上についても促進する必要がある。また、一部の市町では、AIの導入やRPAの実証実験を既に始めているところである。そこで、5市1町の現況課題及び先進自治体の例などについて整理・分析をし、AIやRPAの導入効果を調査・研究するとともに、導入の可能性について検討を行った。